



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）12月5日号 No. 1514

目次

■ 2010年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入.....	1
■ トピックス	8
メドヴェージェフ教書、経済外交強化唱える／8	
東芝がカザフでレアアース回収実験／9	

2010年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入

はじめに

2010年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入の統計データが出揃ったので、今回の速報では恒例によりこれらのデータを図表にまとめてお届けすることにする。

まず、ロシアの貿易高の推移を、より精度の高いロシア中央銀行発表の国際収支統計にもとづいて跡付けたのが、図1および表1である。ロシアの貿易は経済・金融危機の痛手から立ち直りつつあり、2010年1～9月の輸出入総額は前年同期比35.3%増の4,593億ドルとなった。うち、輸出が2,870億ドル（同38.1%増）、輸入が1,722億ドル（同31.0%増）であった。

貿易の商品別や相手国別の内訳を知ることができるのは通関統計なので、表2～6ではロシア関税局発表の通関統計にもとづいてロシアの貿易動向を整理している。ただし、またぞろ厄介な問題が発生した。ロシアとベラルーシが関税同盟を結成しており、両国間では通関手続きがとられない関係で、これまでもロシアの通関統計にはベラルーシとの取引が反映されていないという難点があった。それに加え、今般ロシア・ベラルーシ・カザフスタン3国の関税同盟が発足したことにより、本年7月1日からロシア・カザフ間の通関手続きも廃止され、したがって表2～6には7～9月のカザフとの取引も反映されていないとのことである（表6では、ベラルーシとの取引は、推計値にもとづいて加算されている）。表6でカザフとの貿易だけが急減しているかのように見えるのはそのためである。3国関税同盟の枠内で通関統計を整備するという計画もあるようだが、何としても改善してほしい問題だ。